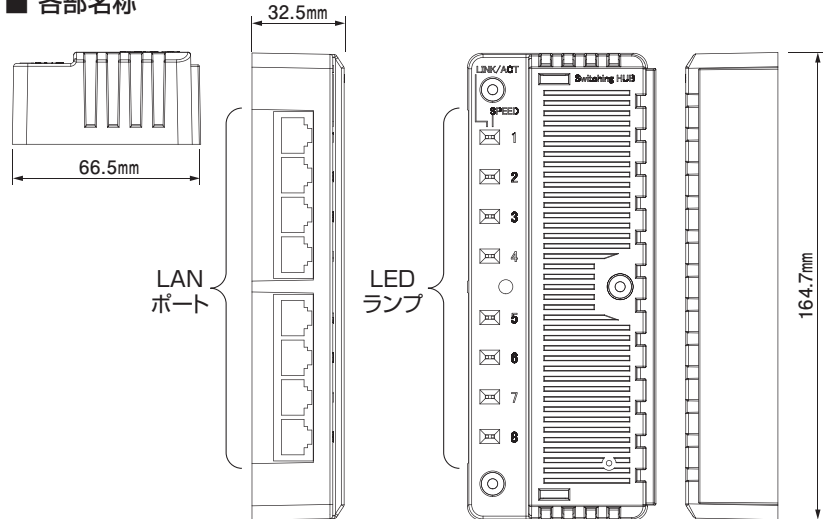


スイッチングHUBについて

■ 各部名称

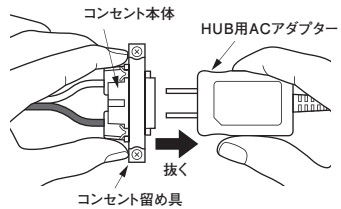


■ 製品仕様

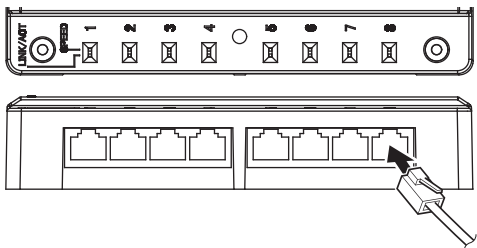
LANポート	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T × 8ポート（RJ-45モジュラジャック） ・全8ポート 10M/100M/1000M Auto-negotiation対応 ・通信モード：1000M全二重、10M/100M全二重/半二重 ・全ポート 速度自動調整機能付 （LANケーブルの一部断線などにより、1000M通信不能時、100M通信を試みます。）	
伝送方式	IEEE802.3 10BASE-T / IEEE802.3u 100BASE-TX / IEEE802.3ab 1000BASE-T	
適合規制	VCCI クラスB準拠	
カスケード接続	全8ポートともオートMDI/MDI-X機能により、接続相手に合わせて送信と受信のペアを入れ替える為、ストレート/クロスケーブルの両方が使用可能	
記録最遠長	スイッチングHUB ⇄ 情報コンセント ⇄ 接続機器 / 両端最長 100m	
スイッチング仕様	スイッチング方式	ストア & フォワード方式
	パケット伝送能力	・ノンブロッキング / ・Jambo Frame 最大9600byte
	MACアドレステーブル	8000エントリ
	エージング機能	約5分
	バッファ	112KB
LED表示	フロー制御	半二重時：バックプレッシャー 全二重時：802.3x
	SPEED LINK/ACT	・LEDの点灯/点滅でリンク/受信の状態を表示 点灯：端末との接続（リンク）が正常 点滅：データを送信中

■ 操作方法

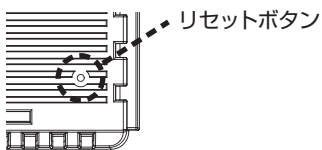
☑電源のON/OFFは、ACアダプタの抜き差しで行います。



☑ブロードバンドルータとの接続は、本体左側面1～8の任意のポートに接続してください。
端末、機器が接続しているポートは、天面LEDランプが点灯または点滅します。



☑フリーズした時などは本体天面のリセットボタンを細い棒等で押してください。



製品保証書

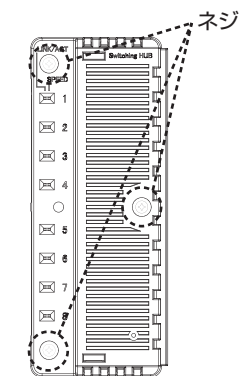
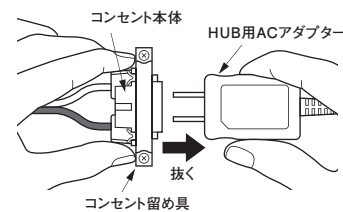
製品名/型 式	情報盤 ACP TYPE /	製造番号	
ご購入日	年 月 日	保証期間	ご購入日より 1年間
お 客 様	フリガナ お名前	様	
	ご住所 〒 -		
販売店/工務店/電気施工店	電話番号() -	店名・住所 〒 -	電話番号() -

【保証規定】※必ずお読み下さい。 ※製造番号は、本体内部に記載しております。

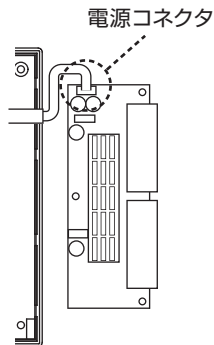
- 第1条（保証内容）**
当社は、お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に本製品が故障した場合には、本規定に基づき、無償により修理または取り替え（以下、「修理等」といいます）を行います。
- 第2条（保証手続）**
1.保証期間内に本製品が故障して修理等を受ける場合。
①本製品が取付け対象とならないときは、本製品および本書をご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
②本製品が取付け対象となるときは、お買い上げの販売店にご依頼の上、修理等に際して本書をご提示ください。
2.持込修理の対象商品を直接当社へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、当社が出張により修理等を行った場合には、出張費用はお客様の負担となります。
3.本製品を取り替えた場合には、回収した本製品の所有権は当社に帰属致します。
- 第3条（免責）**
1.以下の各号のいずれかに該当する場合、当社は本製品に関して保証責任を負いません。この場合、有料対応となります。
①使用上の誤り及び不当な修理又は改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
④本製品の設置工事の不良によって生じた故障及び損傷
⑤お客様により本製品の分解・改造・補修・付属品取付け等が行われた場合
⑥本製品の通常の自然消耗・変色等専ら材料の自然特性または経年劣化による場合
⑦本製品に接続された別の機器・部材・ソフトウェア等起因する場合
⑧本書のご提示がない場合
⑨本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合又は字句を書き換えられた場合
2.当社は、本製品の故障または使用によって生じたお客様の間接損害、データ損失のいずれに関しても、一切の責任を負いません。
- 第4条（その他）**
1.本書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
2.本書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
3.ご転居の場合には、事前にお買い上げの販売店または当社までご相談ください。
4.ご贈答品等でお買い上げの販売店で修理等をご依頼されない場合には、当社までご相談ください。
5.本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて修理等を約束するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又は当社までお問い合わせください。
6.お客様にご記入頂いた個人情報、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。

HUBの取り外し、取り付け方法

- ①接続している全てのLANケーブルを抜き、ACアダプタを電源コンセントから抜いて本体を停止させます。
- ②3箇所（ネジ）を外します。



- ③筐体を取り外し、ACアダプタに接続している電源コネクタを取り外します。



- ④取り付けは①～③を逆手順で行います。

⚠ 注意

- 作業は、専門の工事業者様にて行ってください。
- できるだけ、本体基板に手を触れないようにしてください。故障の原因になります。

情報盤 ACP TYPE 取扱説明書



安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、使用者および他人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
- ご使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

- ⚠ 警告** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
- ⚠ 注意** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。

お守り頂く内容を次の図記号で説明しています。

- ⚡ 禁止（してはいけないこと）を示します。 ⚠ 強制（必ず守ること）を示します。

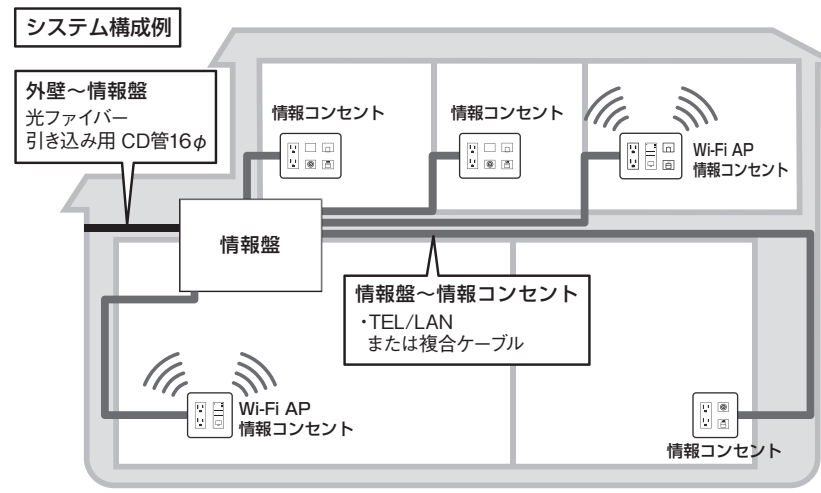
⚠ 警告

- ⚡ 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねないでください。また、重い物をのせたり、はさみこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- ⚡ 分解や改造をしないでください。故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- ⚡ 濡れた手で扱わないでください。電源が接続された状態で本製品や内部機器の操作を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
- ⚡ 本製品の内部に燃えやすいもの等の異物を入れないでください。高温によって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- ⚡ 付属の電源ケーブルを使用してください。本製品や内部機器の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- ⚡ 電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
- ⚡ 本製品や内部機器から発煙や異臭が生じた場合には、ただちに本製品のコンセントを抜いた上、工事業者様に修理を依頼してください。そのまま使用した場合、火災、感電の原因になる可能性があります。

ご利用上のご注意

- 各種サービスのご利用には別途契約、及び利用料が発生します。
- 情報盤内部機器以外のネットワーク機器は、本システムには含みません。
- 情報コンセント以降の端末機器は、本システムには含みません。
- 本システムのネットワーク設定等はお客様で行ってください。
- 記載の各仕様は、実際とは異なる場合があります。

マルチメディア情報配線システムについて

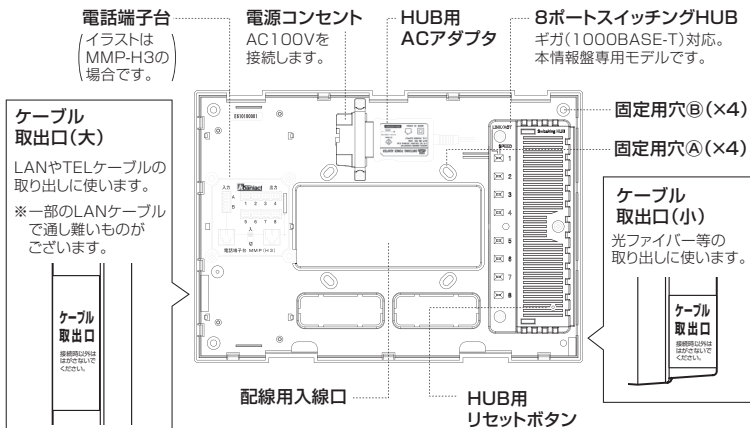


インターネット接続機器を情報盤につなぐことで、各部屋の情報コンセントでネット利用ができます。

- 特長1**
FTTH、CATV、ADSLなど全てのブロードバンドサービス、通信業者にも対応しています。
- 特長2**
光電話（IP電話）にも対応しています。
- 特長3**
各部屋から、パソコン、ゲーム機、テレビ、ブルーレイレコーダなどをネット接続できます。
- 特長4**
接続は有線LANですので、確実につながり、セキュリティ面も安心してお使い頂けます。

情報盤とは

■ 各部の名称およびはたらき

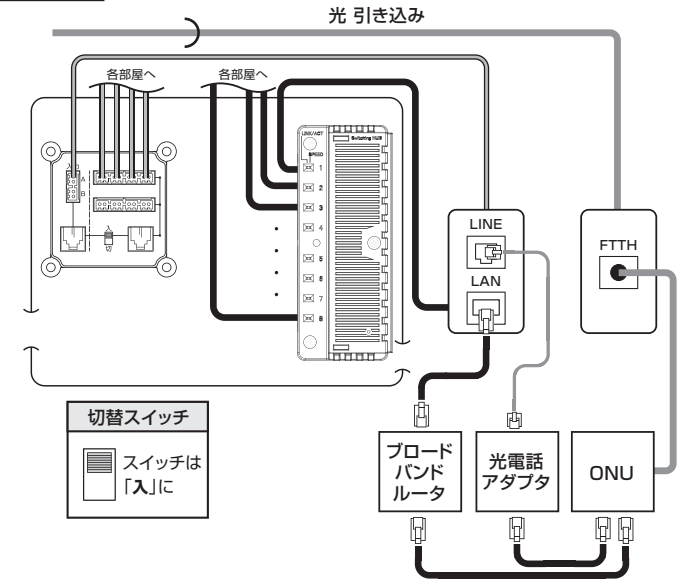


■ カバーの開閉方法

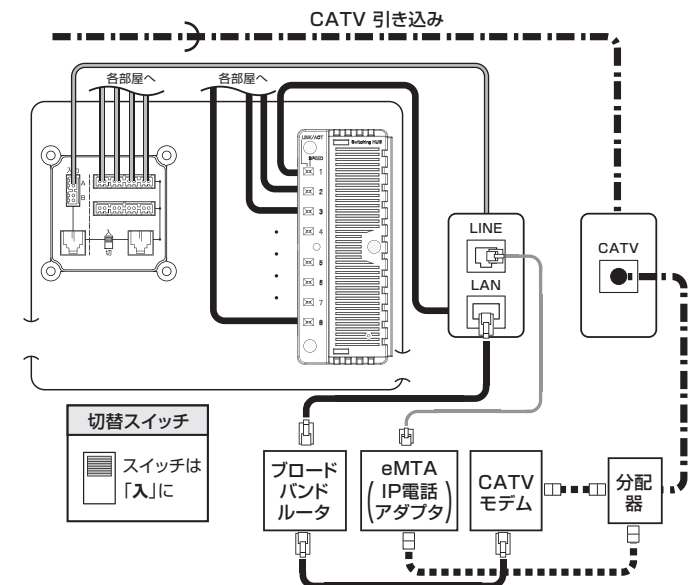
- 開け方**
- ①ボックス下部の凹みに指をかけ、手前に引いて外します。
 - ②カバー上部のツメを支点に引き上げ、落とさないよう取り外します
- 閉め方**
- ①カバー上部のツメをボックス本体に合わせます。
 - ②カバー下部を押してパチッと閉まるまではめ込みます。

接続手順 Aパターン 居室に機器を設置する場合

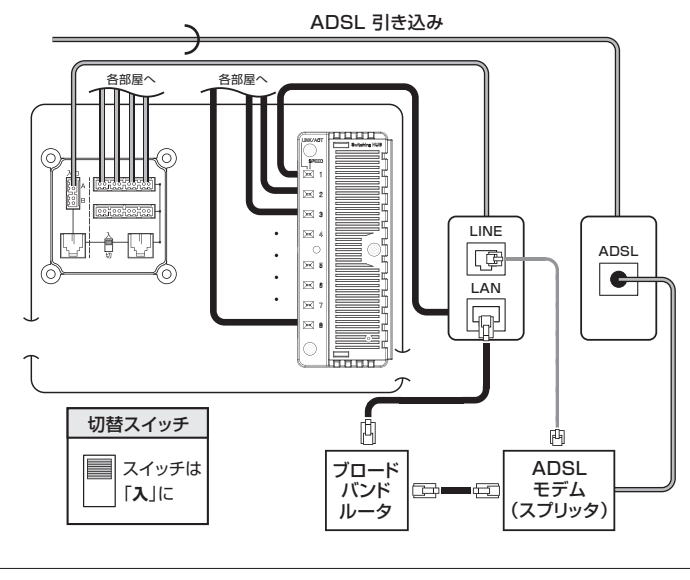
FTTH



CATV



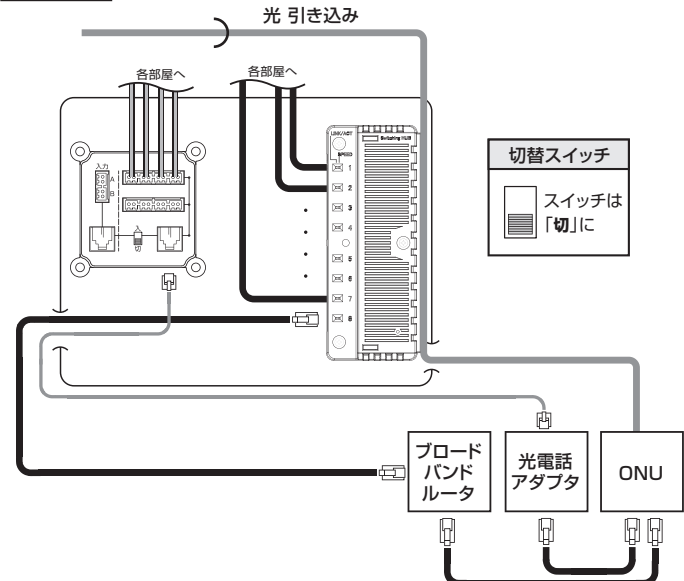
ADSL



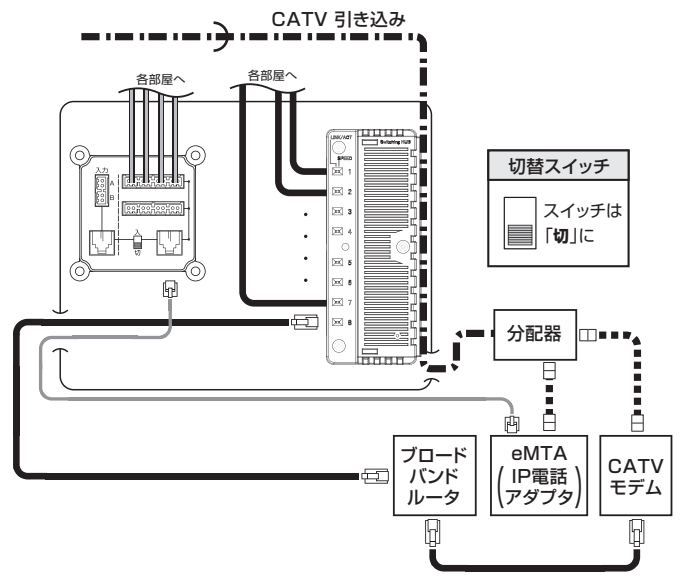
接続手順 Bパターン BOX付近に機器を設置する場合

※BOX左右のケーブル取出口をご利用ください。

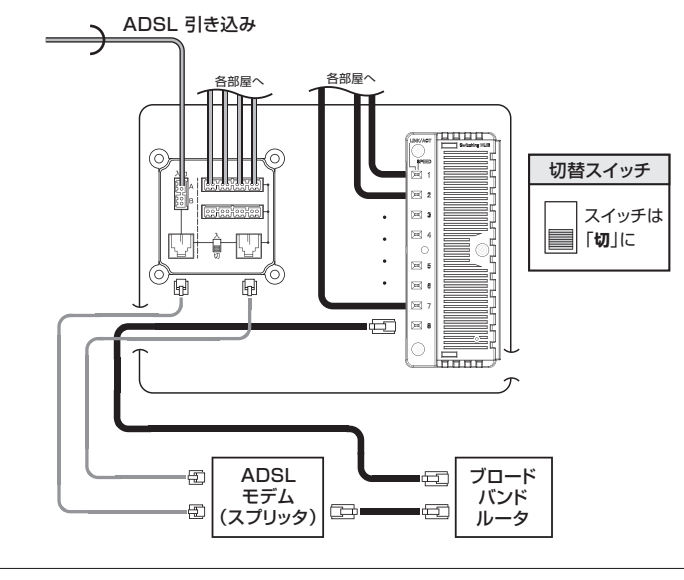
FTTH



CATV



ADSL

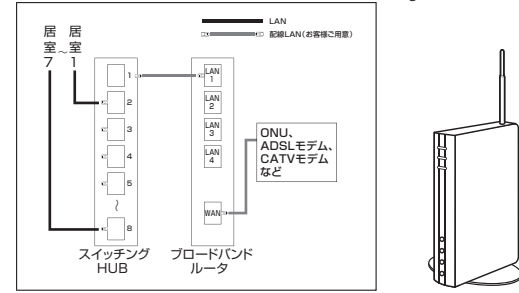


LAN(ネット利用)に関するご注意

機器接続方法

ブロードバンドルータとスイッチングHUBは下図を参考に接続してください。

※1～8番ポートへの接続位置は任意です。



ルータの設置について

本情報盤にはルータが含まれておりませんので、必要に応じて別途ご用意ください。

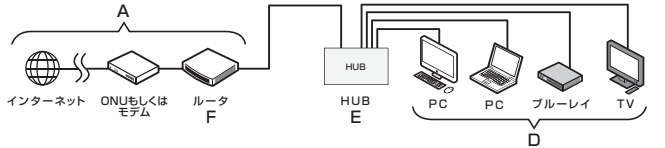
IPv6映像配信サービス利用時のご注意

光回線において「IPv6マルチキャスト通信」を利用した映像配信サービスをご契約の場合、専用チューナ(セットトップボックス、STB)へ接続するLAN配線はHUBを経由せず、直接回線終端装置(ONU)もしくはひかり電話ルータに接続してください。

- チューナがHUBに接続される場合、次のような不具合現象を引き起こす可能性があります。
- HUBの動作不良もしくは稼働停止(ハングアップ)。
- インターネットの通信速度が著しく遅くなる。
- LANポートのランプが絶えず点滅する。

故障かな?と思ったら

LAN(情報盤搭載関連部材:HUB)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	インターネット回線自体に不具合が起きていませんか? 回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムやルータ、HUB等に異常、接続ミスはないか	A、E	各通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか?(※)
3 LAN配線、LANコンセント、LANケーブルに異常はないか	B、C	各通信機器間で断線や接点部の接触不良が起きていませんか? LAN、ケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のLAN配線については、ハウスメカ様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
4 ルータ機能、もしくは接続は正しいですか?	B、F	ルータ機能もしくは通信機器の接続は正しいですか? ルータ機能が無いと複数個所で同時にインターネットにつながりません。(※)
5 使用端末に異常はないか	D	お使いのパソコン等の機器に不具合が起きていませんか? 最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※)

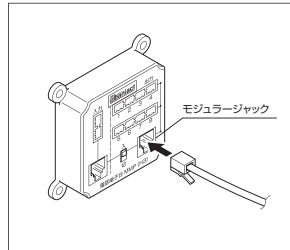
※各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様、回線業者様にお問い合わせください。

TELに関するご注意

電話端子台への接続方法

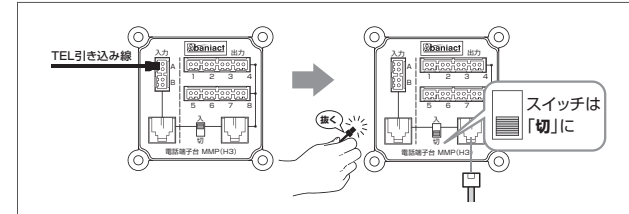
光(IP)電話アダプタを電話端子台に接続することで、各部屋で電話がつながようになります。

接続にあたっては、電話アダプタ付属のモジュラーケーブルを利用して、下図のように、電話端子台の右下のモジュラージャックに接続してください。



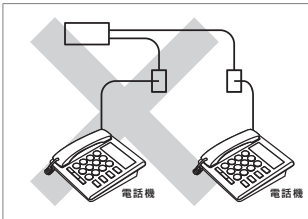
光電話等をご利用の場合は、電話端子台の「入力」ポートに接続されている「TEL引き込み線」を外してください。

(一部、屋内配線に雑音等の影響を与える可能性があります)



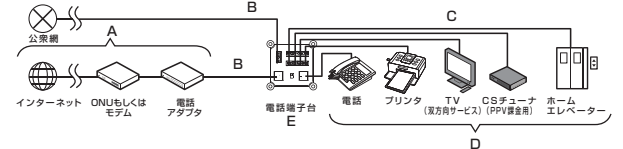
電話機の接続について

ひとつの電話回線(配線)に、複数台の電話機を接続(ブランチ接続)しないでください。FAXの通信エラー、ナンバーディスプレイなどの機能が支障があり、正常に動作できなくなることがあります。



故障かな?と思ったら

電話(情報盤搭載関連部材:電話端子台)



チェック項目	エリア	考えられること・対処方法
1 インターネット回線に異常はないか	A	電話回線もしくはインターネット回線に不具合が起きていませんか?契約内容も含めて、回線業者様にお問い合わせください。
2 モデムや電話アダプタに異常、接続ミスはないか	A	通信機器に不具合もしくは接続ミスが起きていませんか?(※1)
3 TEL引き込み線に異常はないか	B	外部引き込み線、もしくは電話アダプタ～電話端子台間の接続ケーブルに断線や接点部の接触不良が起きていませんか?ケーブルの抜き差しもしくは、交換をしてみてください。
4 TEL配線、モジュラージャック(電話コンセント)、モジュラーケーブルに異常はないか	C	断線や接点部の接触不良が起きていませんか?モジュラーケーブルの抜き差し、もしくは交換をしてみてください。壁内のTEL配線については、ハウスメカ様、電気工事店様に点検をご依頼ください。
5 使用端末に異常はないか	D	お使いの電話機等端末機器に不具合が起きていませんか?最近設定変更をした、調子がおかしい等。(※1)
6 電話親機を一つの電話回線に2台以上つないでいないか	D	電話親機を、一つの回線(配線)に複数台同時につないでいる(※2)と、ナンバーディスプレイやFAX、電話の呼び出し音などが正常に動かなくなります。電話親機の接続は1台だけにしてください。(プリンター、FAX専用機、チューナ等は除く)(※1)

※1…各機器付属のマニュアルをご参照になるか、機器メーカー様にお問い合わせください。
※2…ブランチ接続